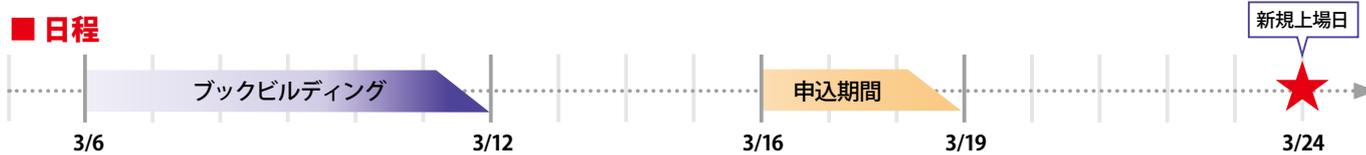


IPO銘柄 イード (6038・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6038	100 株	公募: 35.00 万株 売出: 59.87 万株 (OA14.23 万株)	1,300 円 ~ 1,400 円 (19.7 倍)	野村証券



自動車情報サイト「レスポンス」など高知名度メディアを多数運営

■ 事業内容

インターネットメディアを複数展開。自動車情報専門のニュースサイト「レスポンス」や総合IT情報配信サイト「RBB TODAY」、ゲーム情報を幅広くカバーする「インサイド」などが主力。運営サイトは15年1月現在34あり、全メディア合計で月平均1億を超えるページビューを誇る。CMP事業と位置付けるメディア事業では、新しいサイトを自社で開発するとともに、M&A（企業の合併・買収）も活用してサイト数を拡大。このほか、パズル分野に特化した8つの雑誌も発行。広告収入のほかにシステム提供やスマートフォン（多機能携帯電話）アプリなど、データ・コンテンツ提供も行う。もう一方のCMS事業では、リサーチソリューションとECソリューションを提供している。

■ 特徴

共通プラットフォーム「iid-CMP」を活用してウェブメディア、コンテンツを運営。「iid-CMP」はコンテンツマネジメントシステムで、集客やローコストオペレーション、データベースの蓄積などの機能がある。M&Aなどによって増加したメディア、コンテンツを「iid-CMP」上に搭載することで機能を充実させてきた経緯がある。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年6月期の連結経常利益は前期比12.6%増の5億400万円を計画する。M&Aによるサイト数増加、スマホ向けニュースアプリの投入などが寄与して足元は堅調に推移している。景気の改善期待を背景にネット広告の需要は根強く、業績面への不安感は乏しそうだ。

■ 定性分析

高い知名度を誇るサイトも含む、各分野の専門サイトを多数運営する。ビジネスモデル自体に新鮮味はないものの、IPOマーケットにおけるネット株の人気は高く、初値買い人気を集めそうだ。立ち上がったばかりだがスマホ向けニュースアプリの将来性も手掛かり。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は15億円程度。ベンチャーキャピタル保有株が多く、ロックアップが解除される公開価格比1.5倍水準での需給状況変化が想定される。人気化しそうな案件ではあるが、3社同日上場による資金分散も懸念材料のひとつ。（小泉健太）

■ 類似企業

イード(6038・マザーズ)	予想PER19.7倍 (仮条件上限)
アイティメディア (2148・マザーズ)	予想PER28.5倍
オールアバウト (2454・JASDAQ)	予想PER136.9倍

■ 引受証券

野村証券、SBI証券、マネックス証券、SMBC日興証券、大和証券、みずほ証券、岩井コスモ証券、藍澤証券、エース証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年6月期(実績)	2,511	—	342	—	187	—	43.1	—
14年6月期(実績)	3,206	27.7	447	30.7	261	39.6	59.6	—
15年6月期(会社予想)	3,692	15.1	504	12.6	320	22.4	71.1	—

※ 13年6月期より連結決算。14年12月に株式分割(1株→100株)を実施。13年6月期、14年6月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年6月期	43,961	2,138	1,764	595	400.0	82.2	11.5
14年6月期	43,961	2,968	2,026	595	460.1	68.1	13.9

※ 13年6月期および14年6月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	Globis Fund III,L.P.	817,100	16.90
2	三越伊勢丹ホールディングス	653,100	13.51
3	エキサイト	640,000	13.24
4	マイナビ	400,000	8.27
5	インスパイア・テクノロジー・イノベーション・ファンド投資事業有限責任組合	389,800	8.06
6	博報堂DYメディアパートナーズ	241,000	4.98
7	Globis Fund III (B),L.P.	229,700	4.75
8	宮川 洋	207,000	4.28
9	工木 大造	206,000	4.26
10	ドコモ・イノベーションファンド投資事業組合	200,000	4.14
10	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.14

経営陣

役職	氏名
代表取締役	宮川 洋
取締役 管理本部 本部長	工木 大造
取締役 リサーチ事業本部 本部長	須田 亨
取締役	大和田 廣樹
取締役	白井 俊徳
取締役	今川 聖
常勤監査役	山中 純雄
監査役	岡田 智雄
監査役	安達 美雄

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会